

第3節 農畜産プロジェクト

～循環型農業を推進し、食と農畜産を未来に受け継ごう～

1. 現状と課題

農畜産業は、本市の基幹産業であり、本市の食と農は将来に渡って受け継ぐべき魅力のひとつです。農地は、雨水の貯留による洪水や土砂崩れの防止、多様な生き物の生息・生育環境の保全、緑豊かな田園風景の形成など多面的な役割を果たしています。

しかしながら、近年は過疎化や高齢化などによる農畜産業の担い手不足が引き起こす農地の荒廃や、施肥や農薬による生物多様性や地下水への影響が課題となっています。また、家畜排せつ物による悪臭や水質汚染など、処理の不徹底による問題も課題となっています。



2. 施策の方向性

●後継者の確保

農村環境と本市の農畜産業の魅力を発信し、新規就農者を増やします。

人・農地プランなどの実効性のある施策によって、農地の集積と再整備を実施し、耕作放棄地・遊休農地の発生を防止し、農地を有効活用します。

●自然循環型農業の推進

各農家への指導や助言により、施肥や農薬などによる環境負荷を減少させるとともに、安心安全な農産物生産供給体制を構築します。

また、家畜排せつ物の堆肥化を促進し、循環型農業を推進します。

●廃棄物の適正処理

農畜産業に係る廃棄物の適正処理推進のため、農業用廃プラスチック類などの一斉回収を実施し、農畜産業に係る廃棄物の不法投棄を無くします。

3. 施策

3-1. 農畜産業の持続的な発展に関する施策

農畜産業共通

施策番号 32 農畜産業の担い手を確保するため、新規就農者に補助金を交付し、栽培技術力の継承などを行うとともに、労働力不足解消のための新しい技術を取り入れた、スマート農業を推進します。

施策番号 33 ふるさと納税制度を活用し、本市の農畜産物の普及に努めます。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
32	新規就農者数	8人/年	農政課
	スマート農業技術導入	1農家1技術/年	農政課
33	ふるさと納税額	13億円/年	商工観光課

農業

施策番号 34 曾於市グリーンツーリズム協議会と連携し、本市の農村環境を利用して、市外からの観光客を受け入れるとともに、農業体験を通して、将来の農畜産業の担い手となるためのきっかけを提供します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
34	体験型民泊の受け入れ	50人/年	商工観光課



グリーンツーリズム
(就農体験)



グリーンツーリズム (退村式)

3-2. 農地の保全に関する施策

農地保全

- 施策番号 35** 農業者などによる組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持などの地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など、多面的機能を支える共同活動を支援します。また、高齢化や事務の煩雑から組織数が減少しているため、広域化を推進します。
- 施策番号 36** 中山間地域等直接支払制度を活用し、耕作放棄地の発生防止及び多面的機能を確保する活動を推進します。
- 施策番号 37** 農地パトロールや農地の利用状況調査結果に基づき、農地の無断転用を防止するとともに、再生可能な遊休農地の改善指導や利用調整活動などを行い、農地の利用集積・集約化を推進し、農地の景観を保全します。
- 施策番号 38** 今後の耕作放棄地の発生防止のため、「人・農地プラン」の実質化を推進します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
35	活動組織の広域化による組織数	3団体 [2030年度まで]	耕地林務課
36	中山間地域等直接支払制度利用件数	8件/年	市民環境課
37	遊休農地の解消面積	16ha/年	農業委員会
38	「人・農地プラン」の実質化	市内全域完了 [2030年度まで]	市民環境課



曾於市有機センター



農業用廃ビニール類の一斉回収で
回収された農業用廃プラスチック類

3-3. 環境保全型農業の推進に関する施策

施肥・農薬散布

施策番号 39 家畜排せつ物を利用し、循環型農業を推進するため、有機センターにて家畜排せつ物を受け入れ、完熟堆肥を製造・販売します。

施策番号 40 環境保全型農業の推進と堆肥の悪臭による生活環境への影響を防止するため、講習会を開催し、各農家へ指導・助言を行います。

施策番号 41 土壌診断を実施し、その結果に基づいた土づくりや施肥改善と農薬の適切な使用も講習会で指導します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
39	家畜排せつ物の受け入れ量	14,000 t / 年	畜産課
	完熟堆肥の販売量	6,000 t / 年	畜産課
40	堆肥による悪臭の苦情件数	0 件 / 年	農政課 市民環境課
41	土壌診断の地点数	300 地点 / 年	農政課

農業用廃棄物

施策番号 42 曾於市農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会とともに、農業用廃プラスチック、塩化ビニール、空き缶などの適正な処理を推進し、農業用廃プラスチック類の不法焼却と不法投棄件数を減らします。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
42	農業用廃プラスチック類回収量	500 t / 年	農政課
	農業用廃プラスチック類の不法焼却、不法投棄件数	0 件 / 年	農政課

家畜排せつ物

施策番号 43 家畜排せつ物を適正に管理し、河川や地下水への影響を抑えるため、家畜排せつ物処理法の規制対象農家が設置する堆肥舎や尿溜槽、また概ね10頭規模以上のパドック式牛舎の建設に補助金を交付します。

施策番号 44 家畜排せつ物処理法の規制対象外の農家にも家畜排せつ物の適正管理を指導します。

<環境指標・目標>

施策番号	指標	目標値	担当課
43	規制対象農家への補助金件数 ※堆肥舎・尿溜槽	8件/年	畜産課
	パドック設置補助金件数	8件/年	畜産課
44	規制対象外農家への指導件数	100%/年	畜産課

コラム スマート農業

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野における Society5.0[※]の実現」

※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

【スマート農業の効果】

①作業の自動化

ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に

②情報共有の簡易化

位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に

③データの活用

ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

<実証イメージ(水田作)>



出典：農林水産省「スマート農業の展開について」

4. 市民及び事業者の取組み

市民の取組み

- 地元の農畜産物を積極的に購入・利用します。
- 農畜産業へ関心を持ち，理解を深めます。
- 農村風景を大切にします。

事業者の取組み

- 就農者の育成・確保及び認定農業者の育成に努めます。
- 環境に配慮した農畜産業に取組みます。
- 地元の農畜産物を積極的に購入・利用します。
- 農業体験やグリーンツーリズムに協力します。
- 農村風景を大切にします。

コラム 多種多様な農畜産物の生産

本市は，全国有数の畜産地帯で，野菜・果樹などの農産物も盛んな地域です。

豊かな自然で育まれた農畜産物のうち，肉用牛や豚は全国でもトップクラスで，白菜やすいかなども有名です。

本市の新鮮な農畜産物は，道の駅などで販売されており，高い評価を得ています。安心安全な曾於市産の農畜産物や食品加工物を消費者にもっと知ってもらうため「曾於市ブランド認証品」として紹介しているものもあります。

